

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年七月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第994号

龍

跳

秋季昇段・級試験課題発表表

第八十卷

8

月号

高知
龍跳書道会

伊藤東海書

雙鶴守巢伴一少長
天高翔期千歲

伊藤東海書

一

雙鶴守巢伴一少長天高翔期千歲

宣示表
せんじひょう

鍾 繇
しょう しょう

尚書宣示孫權所求詔今所報所以博示
逮于卿佐必冀良方出於阿是芻蕘之
言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫
族貶睨公私見異爰同骨肉殊遇厚寵以至
今日再世榮名同國休戚敢不自量竊致愚

尚書宣示孫權所求詔今所報所以博示逮于卿佐必冀良方出於阿是芻蕘之言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫所貶睨

公私見異爰同骨肉殊遇厚寵以至今日再世榮名同國休戚敢不自量竊致愚

「宣示表」 賈似道刻本について

漢末から魏晉へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。宣示表は傳來する鐘繇の書の代表的な作品の一つであり、古来より著名である。この宣示表の眞跡は、西晉時代に楷書をよくし、鐘繇や衛瓘を師としてやまなかつた丞相王導の家に藏されていた。その後王羲之の所に傳わり、王羲之が王修に貸し、没後、棺の中に入れて葬つたため眞跡は滅んだ。後世の傳來するものは、王羲之の臨書を経たものである。

岡 林 邦 心 書

天階夜色涼如水
坐看牽牛織女星

邦心書



天階夜色涼如水
坐看牽牛織女星

武 内 美 仁 書

堅方分曉樹山年過晚霞春
深去客到一說良松花

美仁書



梅
川
桂
龍
書

草
木
歳
月
晚

草
木
歳
月
晚
れ

7月20日締切

梅
川
桂
龍
書

關
河
霜
雪
清

関河かんか
霜雪清そうせうせい

8月20日縮切

福
原
曉
雲
書

送茶竹

茶を煎れば竹風を送る

福
原
曉
雲
臨

還
于
卿
佐
必
興

逮
干
鄉
佐
必
冀

岩
河
里
華
臨

使又遷工部
憲部二省
書再並御史大夫

王華臨

江
西
澄
翠
書

石燈茶番清暑
書窗悟韻晚涼餘

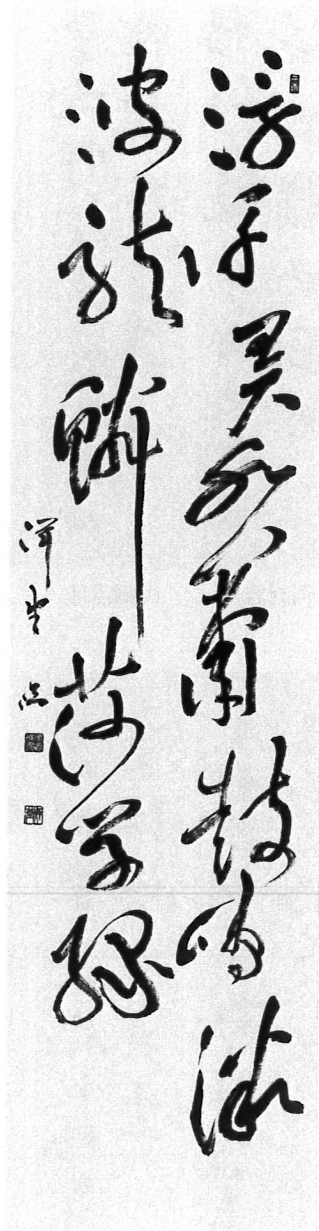
澄

翠

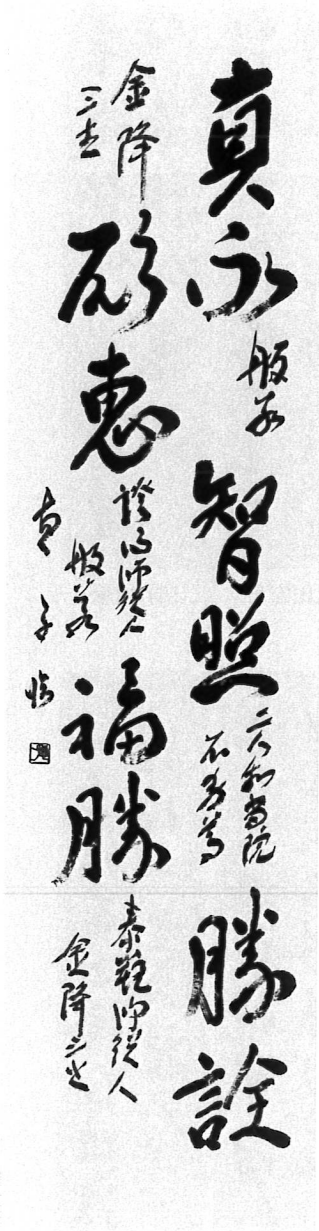
書

書

浜崎洋堂臨



門田惠子臨



半歲依倚竹三時看
好花懶傾惠泉

吉永光翠

雨後浮萍含睡聲
隣海堂主人夢梅子於常

丸田宏子

唯一少者心未成
耳過此一城

大原桂園

李太師收晉賢十四
帖武帝王戎書

山脇佳月

暢仰觀宇宙之大俯
察品類之盛所

河村容舟

心知何處已冷但惟法
造化如空桑指常

中平美峰

高太常司如於軍中人
廿五山出如法司如

氏原美泉

如莊子曰新蘭不知
時將植帖不知

橫山桂華

先姓資天人之勝氣
東江漢之英靈

武政幽雅

十七日先出都司司未
上即日得之書為

大野美賀

条幅当選作品 廣末幽念 選評

★天位

吉永光翠君Ⅱ線質に力みなくすつきりしている。

丸田宏子君Ⅱ章法良く流れがすばらしい。

大原桂園君Ⅱ技術の確かさを感じる作。

山脇佳月君Ⅱ体が良く動き健康な書き振り。

河村容舟君Ⅱ文字変化有り明るい。

★地位

中平美峰君Ⅱおおらかな気分で良く捉えている。

氏原美泉君Ⅱなめらかな動きで全体をさわやかに見

せている。

横山桂華君Ⅱ筆良く立ち力強い。

★人位

武政幽雅君Ⅱ筆にのびがあります。

大野美賀君Ⅱしつかりとした書きぶりによく流れている。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

7月の審査は21日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は高知城ホールです。

競泳大会

8月20日締切

中学一年課題

廣末幽念書

浴海
場水

8月20日締切

野高
球校

8月20日締切

小学五年課題

隅田 亘心 書

水車
小屋

8月20日締切

北
斗
星

小学三年課題

大原桂園書

月光

8月20日締切

ぼん

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書



8月20日縮切

[illegible]

8月20日締切

学校名		石田さんの家で買った
		体温計の取りあつかい説
		明書には、使用方法や使
		用上の注意など、知って
		おく必要のあることがら
		が書かれています。
四年		
級 段		
氏 名		

小学三年課題 野中恵花 書

学校名						
三年						
級段						
氏名						
	ン、	あの音だ。	耳に聞こえてきたのは、	きた。かけだしたぼくの	と、雨がぼつ落ちて	空が暗くなったと思う
	鳴り始めたのだ。	チリン、チリ				

8月20日締切

がっこう	を	っ	の	く	
		かん	を		かん
二	書	かん		み	かん
ねん	き	さ	か	の	さ
だ	ま	つ	かん	回	つ
きゆう	し	カ	さ	り	し
なまえ	よ	ー	つ	の	て
	う	ド	し		
	。	レ	て	も	書

小学二年課題 藤田桂苑 書

がっこう		の	は	や	
		し	な	り	あ
一		み	が	を	さ
ねん		で	さ	し	が
だ		す	く	ま	お
きゆう		。	の	し	に
なまえ			が	た	み
			た	。	ず

がっこう				
ほね	は	う	で	み
	し	た	ん	ん
きゆうだ	り	い	し	な
なまえ	ま	な	や	で
	し	が	ご	
	た	ら	っ	
	。		こ	

〈お知らせ〉

第75回 こども県展について

毛筆課題が左記の通り発表されました。

毛筆の部

課題

中三年	試験問題
中二年	理路整然
中一年	空前絶後
小六年	出発進行
小五年	天空の里
小四年	楽しい本
小三年	木立
小二年	おに
小一年	くさ

※ 本誌十月号の毛筆課題は、

右のこども県展課題と同様とします。

(手本は八月審査会提出)

※ 担当者は7月21日迄に課題を書いて、審査会場にご持参の上、批評を受けて下さい。

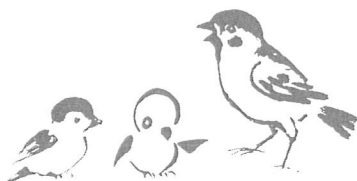
★第46回畫心会書展

会期・6年11月29日(金)～12月1日(日)

午前9時～午後5時
(最終日は4時まで)

会場・須崎市立市民文化会館

搬入・6年11月28日(木)午後一時～二時





(一・二段目) 梅川桂龍 選評
恵花君 一紙のまとまりあり、筆力充実の作佳。

美峰君 剛健な筆致で安定感あり。
賀峰君 墨量の変化を工夫して、趣きある作。

江月君 優しい線質で、ほっこりします。

花梢君 リズム良く軽さの中に線の強さあり。
清園君 全体に意が届き強さが前面にでている。

(二・三段目) 前田秀華 選評
秋桜君 筆先よくきき、気迫の作。

玉水君 線丸く無理のない運筆。
惠泉君 堅実にして、作品が明るい。
星子君 筆致に味わいがあり、真面目に取り組んでいる。

伸水君 屈託のない筆運びで、線が伸びている。

(三・四段目) 大原桂園 選評
紫秋君 伸びやかで、明るい作。

倫子君 力強い作。
美草君 いていねいに書かれ、落ちついている。

伸枝君 味わい深い作。

紀美子君 大らかに書かれている。

美香君 ゆつたりとして良い。
(四段目)
志津君 きびしい線質ですばらしい作。

美枝君 あたたかみがある作。

香代君 伸びやかに書かれている。

鞠受奇
初叶 一筆成

唯一
少 用七

尚書宣
示孫權 字少

尚書宣
示孫權 字少

雲驄峯

雲驄峯 肩

翔以授
之関之 字少

惟能甚
補慕 妙能

雲驄峯
雲奇 字少

江傳
移長 字少

雲驄峯

雲奇 字少

雲驄峯
雲奇 字少

相及勤
加 美

翔以授
至 美

既定爾
勲福 仁

雲驄峯

雲奇 美

燕宣王
廟還 字少

然及天
子 勝意

齊州判
史道昭 美

雲驄峯
雲奇 字少

尚書宣

示孫權 須南

(一・二段目) 福原曉雲 選評

澄翠君 布置章法、バランス相整い

品格有り。

桂園君 氣宇雄大で迫力有り。

賀峰君 一点一画、慎重作、規矩整

然。

惠歩君 慎重作品なれど雅号一考あ

れ。

眉州君 リズム良く書して品有り左。

孝北君 運筆流れ良く書しているが

最後の文字は美しい、堅く

なった。

(二・三段目) 岡崎緑水 選評

妙慧君 大胆な書きぶりで流れあり

佳。

碧香君 動きあり堂々たる作。

淳君 大らかな筆致。見応えあり。

多嘉君 几帳面な書。線も強い。

隆志君 氣力が充実して温か味ある

作。

(三・四段目) 武内美仁 選評

英子君 流れ円滑にて軽快な仕上が

り。

紫秋君 氣力充実、大胆な作。

仁陽君 温和な線質で明るい。

美香君 よく書き込んで、余裕あり。

明美君 澄みきった線でよく伸びて

いる。

勝恵君 丸みのある線質で伸びやか

な作。

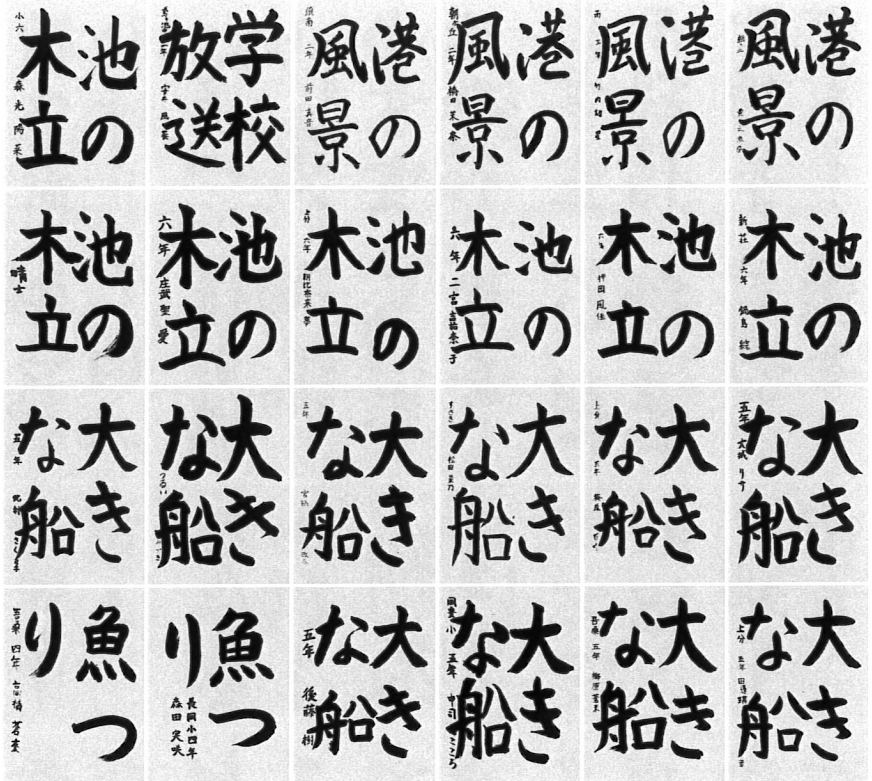
(四段目)

悦枝君 堂々とした作。字々の姿勢

が素晴らしい。

志津君 吊った線で見応えあり。

香代君 素直に書けて好感がもてる。



(二段目) 中学部 岡林邦心 選評

風 君 伸び伸びとして明るい作。

雄星君 明るい作品ですが、もう少し元気に。

茉奈君 伸び伸びとして良い。

真音君 じめじめに良く書けている。

風葵君 じめじめに書けて良い。

(一・二段目) 小学六年 深瀬緑堂 選評

陽菜君 良くまとめているが最後までゆつくりと。

綜 君 堂々として良い。

風佳君 線がのびやかで明るい。

嘉奈子君 もう少し上から書くともっと良い。

来夢君 落ちついてよくまとめています。

聖愛君 四字良く整っています。

晴土君 素直で良い。がんばって書いて下さい。

(三・四段目) 小学五年

リサ君 のびのび書けています。

百叶君 良くまとまっています。

菜乃君 落ちついてのびやかです。

改太君 力強く堂々としています。

香月君 良く体が動いています。

さくら子君 一枚でも多く書いてがんばって下さい。

璃音君 しつかりとまとまっています。

蒼葉君 最後まで息長く書けています。

こころ君 力強くいてねいに書けました。

樹 君 流れも良くしつかり書けました。

(四段目) 小学四年

実咲君 堂々として立派。

蒼來君 良くまとまっています。

奥堂皓月 選評



(一段目) 小学四年

聖佳君Ⅱていねいに書いています。
健悟君Ⅱのびやかで良い。

美緒音君Ⅱ力強く書いています。

蒼馬君Ⅱ体でよく書いています。「点」が良い。

明利君Ⅱていねいに書いています。

ほのか君Ⅱのびのびと書いています。

(二・三段目) 小学三年

太希君Ⅱ良くまとまっています。

芳尚君Ⅱ力強く書いています。

未來君Ⅱ元氣よく書いています。

息吹君Ⅱていねいに書いています。

治太君Ⅱ強い線で書きました。

華乃君Ⅱバランス良く書きました。

郁菜君Ⅱまじめに書いています。

(三・四段目) 小学二年

すず君Ⅱていねいにまとまりのある作品。

はるか君Ⅱおちついて書いています。

はるま君Ⅱ元氣よく書いています。

れん太ろう君Ⅱ力強く書いています。

いぶき君Ⅱのびのびと書いています。

心花君Ⅱ気持ち良くのびやかに書いています。

にこ君Ⅱかたちを良く見て書いています。

(四段目) 小学二年・ようち・ほいく

望未君Ⅱおちついてていねいにかけています。

由菜君Ⅱのびのびとじょうずにかけています。

こな君Ⅱかたちよくげんぎにかけました。

遥都君Ⅱ大きくげんぎにかけました。

河村容舟 選評

佐竹江月 選評

西森令泉 選評

多ノ郷 森光 陽菜
浦ノ内 矢野 蒼真

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

多ノ郷六時待 森光陽菜

越知 大原 留心
多ノ郷 大城 リサ

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

越知六五時 大原留心

越知 片岡 杏璃
岡豊 中司 こころ

地球には、たくさんの、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。

越知五五時 片岡 杏璃

浦ノ内 中平 滯里
長岡 西内 明利

自分にとつて最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

浦ノ内四二時 中平 滯里

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

浦ノ内六九時 矢野 蒼真

地球には、たくさんの、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。

多ノ郷五八時 大城 リサ

地球には、たくさんの、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。

岡豊小五二時 中司 こころ

自分にとつて最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

長岡小四初時 西内明利

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

久礼小六八時 濱田 奏

地球には、たくさんの、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。

須崎至七時 松田 菜乃

自分にとつて最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

長岡小四七時 森田 実咲

自分にとつて最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

池川小四初時 北村 日和

久礼 濱田 奏
長岡 高芝 仁貴

須崎 松田 菜乃
浦ノ内 松山 翔

長岡 森田 実咲
小高坂 川西 康介

池川 北村 日和
須崎 毛利 香花

俳句は、芭蕉によつて芸術として高められました。今も俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

長岡六七時 高芝 仁貴

地球には、たくさんの、さまざまな生き物がいる。生き物の、最も生き物らしいところは、多様だということです。しかし、よく見ると、その中に共通性がある。

浦ノ内五六時 松山 翔

自分にとつて最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

小高坂四六時 川西 康介

友だちの話を聞くと、知らなかつたことや、自分もやってみたいと思うことが出てきて、くわしく知りたくなることがあります。

須崎三・五時 毛利 香花

須崎 田村 紗雪
江ノ口 下村 亜弥衣

友だちの話の話を聞くと、
知らなかったことや、自
分もやってみたいと思う
ことが出てきて、くわし
く知りたくなることがあ
りませんか。

友だちの話の話を聞くと、
知らなかったことや、自
分もやってみたいと思う
ことが出てきて、くわし
く知りたくなることがあ
りませんか。

友だちの話の話を聞くと、
知らなかったことや、自
分もやってみたいと思う
ことが出てきて、くわし
く知りたくなることがあ
りませんか。

友だちの話の話を聞くと、
知らなかったことや、自
分もやってみたいと思う
ことが出てきて、くわし
く知りたくなることがあ
りませんか。

多ノ郷 坂本 大和
長岡 澤村 郁菜

すさき 金堂 涼
上分 吉村はるか

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは、赤
いトマトと、同じに
おいがします。

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは、赤
いトマトと、同じに
おいがします。

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは、赤
いトマトと、同じに
おいがします。

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは、赤
いトマトと、同じに
おいがします。

うらノ内 山岡 みずき
池川 上村 しんば

くれ 下だに ことは
あそう まつさかのぞみ

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは、赤
いトマトと、同じに
おいがします。

ふたりは、なか
よしに なりまし
た。
「また、あした。」

ふたりは、なか
よしに なりまし
た。
「また、あした。」

ふたりは、なか
よしに なりまし
た。
「また、あした。」

うらノ内 よしおかまひろ
ふぞく えがしら こう

うらノうち 中平ゆうだい
くれ もりおかべに

ふたりは、なか
よしに なりまし
た。
「また、あした。」

ふたりは、なか
よしに なりまし
た。
「また、あした。」

みずうみに
かめが
のそのそ
あるいています

みずうみに
かめが
のそのそ
あるいています

かみぶん なかじまゆいと
すさき こんどう こな

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査 福原 曉雲

★師範

★準師範

江澄翠 大原桂園 弘中賀峰 野中恵花 市河處艸 岩里華 奥堂皓月 河村容舟 深瀬緑堂 岡林邦心 萩野羽花 西山極山 中平美峰 浜崎洋堂
山本恵歩 田村眉州 戸田孝北 大野美賀 岩崎竹山 平井桂草 池川千晶 大崎紫陽 氏原美泉 山川百合 小野山美喜

審査 岡崎 緑水

★六段

桑原智子 大平圭子 窪田碧泉 別役美佐 山中紅風 井口花道 天野喜泉 西内仁子 西森令泉 鎌倉春葉 山西春草 松浦明子 森光望春 丸田宏子 藤原朱鳳 田村和子 高橋桜芳 佐竹江月 池芳春 吉田桂華 横山桂華 高橋朱鳥
岡村妙慧 坂本碧香 伊吹悠道 松本祝子 橋本元玉 下元玉泉 岩谷紅花 小笠原廣峰

★五段

★四段

審査 武内 美仁

★三段

★二段

★初段

大井淳 笠原多嘉 鈴木輝代 濱田幸子 岡林翠 山崎隆志 西森啓助 浜恵子 高橋翠園 岡本美水 濱田順子 武内 美仁 中澤英子 横田紫秋 西岡仁陽 坪内倫子 杉本美邦 品原律子 市川美香 西尾明美 掛勝恵 和田恵美

審査 武内 美仁

★一級

★二級

○尾立千賀

★三級

○西村小百合

★四級

○川口虎ノ介

★新規

五級編入 須南 小笠原香代

第889回毛筆成績

○印は昇級

中学部

審査 岡林 邦心

三年

★特待生

朝ヶ丘黄之瀬 風 南 竹内雄星

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田茉奈 須南 前田真音

★九段

上分 弘田聖奈

一年

★九段

鷹ヶ池 安井風葵

★七段

池川 藤原乙羽

小学部

毛筆六年

審査 深瀬 緑堂

★特待生

多ノ郷 森光陽菜

★九段

新莊 鍋島 綜

★八段

長岡 押岡風佳

★七段

長岡 二宮嘉奈子 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴 長岡 高芝仁貴

★六段

上分 弘田美結

★三段

別府 庄武聖愛

★一段

附属 三本晴士

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

★八段

多ノ郷 大城リサ

★七段

上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃

★六段

長岡 宮脇改太 池川 鶴井香月 須崎 谷口桜心 上分 小松希美

★五段

長岡北村さくら子 岡豊 島村倅空 多ノ郷 橋田天牙

氏名

臨書は出典名

★四段 須崎 高橋蒼來 須崎 津野聖佳 佐古 田村健悟	★四段 上分 田邊璃音 上分 柳本稀衣 須崎 田村拓海 長岡 竹内陽南子	★三段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽	★二段 岡豊 中司こころ	★初段 別府 後藤 樹	毛筆四年 審査 奥堂 皓月	★七段 長岡 森田実咲	★六段 小高坂 川西康介	★四段 吾桑 高橋蒼來 須崎 津野聖佳 佐古 田村健悟
★二級 多ノ郷 森光れんたろう ★初段 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 上分 はし田一か しんじょう 中じまあやと	★初段 須崎 松坂美緒音 馬路 金堂莉李 小松太緒	★初段 吾桑 吉門蒼馬	★五級 上分 中山結愛	毛筆三年 審査 河村 容舟	★五級 須崎 西村太希 須崎 毛利香花	★四段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪	★三段 上分 梅原未來	★二級 長岡 押岡息吹 多ノ郷 太田朋希 岡豊 島村心遙 長岡 竹内伽菜心
★一級 朝倉 根口心花	★一級 長岡 宮脇治太 多ノ郷 森光梨衣奈	★初段 吾桑 長山優奈	★四級 越知 ○藤崎かの	★八級 長岡 ○澤村郁菜	もうひつ二年 審査 佐竹 江月	★三段 須崎 金堂すず	★二段 上分 吉村はるか 須南 宮本はるま	★二級 須崎 金堂すず
★二級 須崎 谷口きずな	★四級 須崎 谷口きずな	★新規 馬路 九級に編入 小松時生	★初段 須崎 谷口きずな	★初段 須崎 谷口きずな	★初段 須崎 谷口きずな	★初段 須崎 谷口きずな	★初段 須崎 谷口きずな	★初段 須崎 谷口きずな
★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉	★七級 吾桑 ○梅原由葉

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		氏名		段		級		のり代		氏名		段		級	
6年8月定規		氏名		段		級		6年8月意		氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段		級				氏名		段		級	
		氏名		段											

★二段 吾桑 宮崎穂花 上分 吉門蒼馬 久礼 橋田陸 笹岡玲斗	★初段 長岡 西内明利 大谷北 大木陽智 長岡 小笠原湊 吾桑 笹岡蒼馬 越知 大原ほか	★一級 池川 北村日和 池川 片岡垂李紗	★四級 久礼 ○堀田瑛太 奈路 ○植野新	★七級 久礼 ○西村波琉 上分 ○中山結愛
硬筆三年 こうひつ 審査 野中 恵花	★五段 須崎 毛利香花 須南 西村太希	★四段 浦ノ内 正木芳尚 課題違い	★三段 江ノ口 下村亜弥衣 浦ノ内 池田理人 上分 梅原未来 浦ノ内 藤田彩葉 浦ノ内 森田羽奏 浦ノ内 山本瑞貴	★二段 多ノ郷 坂本大和 多ノ郷 森光梨衣奈 岡豊 島村心遥 長岡 押岡息吹 越知 藤崎かの 長岡 竹内伽菜心 久礼 蔵下夏愛 長岡 宮脇治太 多ノ郷 太田朋希
★初段 上加 吉原綾人 久礼 松山愛凛 上分 片山ひまり 長岡 猪野光騎 吾桑 長山優奈 久礼 日林ゆあ	★二級 久礼 ○黒原小春	★九級 長岡 ○澤村かな 浦ノ内 ○森田海音 城北 ○富田結羅	こうひつ二年 審査 市原 處艸 ★三段 須崎 金堂すず	★二段 上分 吉村はるか 多ノ郷 橋田かほ 須南 宮本はるま 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 森光れんたろう
★初段 浦ノ内 山岡みずき 朝倉 根口心花 浦ノ内 徳永はや斗 久礼 黒原りか 上分 はし田一か 浦ノ内 岡林ゆい花 しんじょう 中じまあやと	★一級 池川 上村心晴 池川 北村心暖 池川 片岡紗雪	★二級 久礼 ○下谷ことは 長岡 安井 颯 池川 伊藤日向 奈路 植野 葵	★三級 岡豊 ○中司みのり 久礼 ○政岡ゆみ 吾桑 鈴木 花 岡豊 島村昇牙 須崎 谷口きずな	★五級 長岡 ○金堂こうすけ 上加 ○木村ひらと
上加 ○政岡そうし ★八級 久礼 ○近藤みのり 久礼 ○小林なほ 久礼 ○いわせわたる 馬路 木下かいと	★九級 上加 ○大内ゆずの	★新規 久礼 十級編入 久礼 加茂みやび	こうひつ一年 審査 中平 美峰 ★二段 吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜	★初段 浦ノ内 よしおかまひろ 多ノ郷 坂本美咲
浦ノ内 宮田いと ★四級 浦ノ内 ○中平ゆうだい ★八級 久礼 ○森岡べに	★十級 池川 ○黒川琴寧 久礼 ○黒原あお	★新規 久礼 十級編入 久礼 奈路かなえ 浦ノ内 てらうちかのん 佐川 井上めい 高岡すみだしゅう	こうひつ ようち・ほいく 審査 中平 美峰 ★二級 上分 ○中じまゆいと	★一級 附属 江頭 航
★五級 ふたば ○後藤和葉 須崎 ○こんどうこな				

(出品票)

のり代

6年
8月
毛筆

校

名

保

学
年

氏

名

段

級

のり代

6年
8月
硬筆

校

名

保

学
年

氏

名

段

級

のり代

6年
8月
硬筆

校

名

保

学
年

氏

名

段

級

出品者のみなさんへ

- 出品票の記入は楷書で地名、氏名（姓号）を正確に書いて下さい。
 - 段位の方は朱書き、級位の方は黒書きして下さい。
 - 段位は漢数字、級位はアラビア数字で書いて下さい。
 - 新規出品者は級位の欄へ「新」と書いて下さい。
 - 出品は各競書一点です。
 - 出品票には年度と月が入っています。必ず規定のものを使って下さい。
 - 出品票ははずれないよう、きちんとのりづけして下さい。
- ※一級部の随意出品票の臨書作には必ず出典名を記入して下さい。

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 柳筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

雨後江上緑 客悲隨眼新

桃花十里影 搖蕩一江春

雨後江上の緑／客悲 眼に隨つて新たなり／桃花 十里の影

／搖蕩す 一江の春

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ鐘諫宣示表より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

獨出門前望野田 月明蕎麥花如雪

獨り門前に出てて野田を望めば／月明らかにして 蕎麥の花 雪の如し

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ鐘諫宣示表より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

長門蝶舞多

長門 蝶舞多し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千元

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分～九時迄の受付です。

△作品の締切 令和六年八月二十九日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和六年九月一日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 高知城ホール

△受験作品送付先 〒七三三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

⑦ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎 一三三一

隅田巨心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925
電話（〇八八九）三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五—八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九—二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二—三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七—〇七二一番

あとがき

龍跳書道会の最大イベント龍跳展も終わりました。出品者の方、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。

今年の龍跳展いかがだったでしょうか。出品は、会員62点、故人9点、計71点の展示でした。これに、今回初めて学童の部として、毛筆60点、硬筆33点の展示を行いました。小さなお子様連れの参観者も多くみられ、大変良かったなと感じています。来年もぜひ続けてゆきたいですね。

龍跳の会員が大変減っています。現在配本は月358冊と昨年の同期から58冊の減少です。率にすると14%の減少です。なかなかこれを止めることは、難しいとは思いますが、何とか一人でも会員が増えるよう努力して行きたいと思います。

10月から郵便局の郵送料が大幅に上がります。当会としては、今まで値上げもせずに頑張ってきましたが、この度は値上げもやむを得ないのではないかと考えています。会員の皆様もご理解とご協力をお願いいたします。値上げの時期、金額については、おつて、龍跳誌にてお知らせしますので、気を付けて下さい。

まずはお知らせまで。

— 会計担当 巨心 —

月例競書課題

部 別	締切日	
	縮切	締切
一般条幅	任 意	八月二十日 九月二十日
半紙規定	關河霜雪清	別離已昨日
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	競泳大会	言語表現
二年	海水浴場	科学技術
一年	高校野球	体育大会
小学六年	水車小屋	足音高し
五年	北斗星	秋の山
四年	月	夕
三年	ぼ	む
二年	な	そ
一年	つ	ば
保 育		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

①	1冊～3冊	80円
②	4冊～8冊	150円
③	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ①+②=290円×月数

17冊 ①+③=360円× "

30冊 ③×3=630円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

- 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
- 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会

(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 曉雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇三四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八) 86518857